

単元の見直し

相手の立場に立つてする力を身につけるために、京都での伝統文化、USJでのイベントの体験や他地域と府中町との比較を通して、自分の地域や文化を継承、生かすことについて関心を持ち、府中町の発信の仕方について考えるとともに、自分の生き方や地域との関わり方を見直し実践しようとする。

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 知った事実と、これまでに学習したことを関連づけ、新しい知識として獲得している。 ペアトークやグループトークで友達の意見と比較しながら自分の意見を述べている。 	<ul style="list-style-type: none"> 伝える相手に伝えたいことが分かってもらえるような表現方法で自分の考えをまとめている。 相手の意見を受け入れながら、自分の意見も話している。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学習したことを生かし、目標を達成するための具体的な方法を考えて実行している。 グループ等で一緒に学習しながら、あきらめないで最後まで主体的に取り組んでいる。

小単元のゴールに対するルーブリック

小単元のゴール			
地域交流を通して府中町を見つめなおし、住み続けたい町とは何か考えよう。			
課題発見力	他と関わる力	自ら行動する力	
S	<ul style="list-style-type: none"> 府中町の伝統文化の発信と京都や大阪の伝統文化の発信を関連付け、「身に付けたい力」を考え、その力をつけるために何をすればよいか考え、実行することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行で学んだ伝統や文化の継承、体験、その発信の工夫などをまとめ、府中町ではどのようなことができるかという提案を含め、相手に伝わるように表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 予測していなかった事態に遭遇した時に、グループで話し合い、諦めず最後までやり切ることができる。
A	<ul style="list-style-type: none"> 府中町の伝統文化の発信と京都や大阪の伝統文化の発信を関連付け、「身に付けたい力」を考え、その力をつけるために何をすればよいか考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行で学んだ伝統や文化の継承、体験、その発信の工夫などをまとめ、相手に伝わるように表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 予測していなかった事態に遭遇した時に、諦めず最後までやり切ることができる。
B	<ul style="list-style-type: none"> 府中町の伝統文化の発信と京都や大阪の伝統文化の発信を関連付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行で学んだ伝統や文化の継承、体験についてまとめ、相手に伝わるように表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 予測していなかった事態に遭遇した時に、諦めず最後までやり切ることができる。

他教科等及びSDGsとの関連

〈国語科〉「話す・聞く」「書く」
 〈社会科〉「日本の様々な地域〈地域調査の手法〉〈日本の諸地域〉〈地域の在り方〉」
 〈道徳〉「郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」「書道パフォーマンスの挑戦」
 [社会参画、公共の精神]「今度は私の番だ」「住みよい社会に」
 〈SDGs〉

府中町をよりよくするために他地域でどのようなことが調べられるだろうか？

10年後も住み続けたい府中町であるために、どのように府中町の伝統を継承し、発信すればよいのだろうか？

4 まとめ・表現 (2時間)

○様々な体験をしてきた班の発表を聞き、他地域での学習をどのように府中町に還元すればよいか考える。主(1)

- みんなの発表を聞いてキーワードはこれだと思った。
- 次の椿プロジェクトは実際になにかに働きかけてみたい！
- みんなが体験したものには共通点があるな。
- 自分には府中町のためにこんなことができるかも。

○次の学習の見通しをもつ。

- 今回学んだことや今まで学んできたことを活かして何かしたいな。
- 他地域で交流してきたことを活かして府中町を盛り上げたいな。
- 自分にできることを考え、実行したい！

3 整理・分析:修学旅行で学んだことをどのように活かすことができるだろうか？(3時間)

○修学旅行で体験・調査した視点を府中町と比較し提案する。思(1)

- 誰に伝えるかによって、表現方法は変えた方がいいと思うよ。
- ICTを使って分かりやすくまとめてみよう
- 京都で学んだこの視点は府中町ではこのように生かせると思う。
- 府中町のよさってここにあるんだな。

○発表の内容を考える。思(2)

- スライドの文字をもっと大きくしたり、短い文章で示した方が分かりやすいと思うよ
- 他の班が体験した活動について聞いてみたいな。
- 相手を意識した発表にするためにどうすればいいかな。
- 今までの発表で学んだことを活かしたいな。

2 情報の収集:他地域に出て学ぼう(修学旅行)(10時間)

○府中町と比較することを意識し、色々な体験をする。

- (グループ活動:表現)思 主(1)行動観察
- USJでは人を惹きつけるためにキャストの人がこんな工夫をしていると言ってたよ。
 - 京都での伝統文化の体験でこんなことを学んだよ。
 - これは府中町を発信していくときに使えそうだな。
 - 他地域との交流から府中町がより見えてきたよ。

○修学旅行で訪れる場所の計画を立てよう。思(1)

- インターネットや本、雑誌でこんなことがわかったよ。
- 現地に行くことでしか分からないことって何だろう。
- 現地の人にこんなことを聞いてみたいな。
- ここではこんなことを学んでみたいな。
- 府中町と比較するためにこんな体験がしたいな。

1 課題の設定:府中町をよりよくするために修学旅行で何を調べられるだろう。(8時間)

○府中町(身近)と他の地域を結び付け、府中町をよくするためにどのような視点で調べたいか考える。

- (個人思考→グループ活動:表現)思 ワークシート, 行動観察
- 「志」の職場体験では実際に社会に出て、体験を通して学んだよ。
 - 1年生では府中町について学んだよ。他の地域の伝統なども体験してみたいな。
 - 京都の「和」について体験することで府中町の「和」について考えられるかも
 - 他地域に出ることで府中町に戻ってきたときに新しい発見ができるかも

○課題設定、どのような視点で修学旅行を体験、調査するか決定しよう。(本時) リーダー会 主(2)

- クラスで出た意見をまとめると○個の調査の視点がありそうだね
- 他のクラスの視点と似たものがあるけどこういうところが違うな
- これらの視点で調査に行くことをみんなに伝えよう。
- 同じ「和」という視点でも「食事」や「お茶」「建築」「考え方」などのジャンルに分けられそう。一人一つのジャンルで調べることができればおもしろいかも！

○京都について知ろう。(全体:表現)知 ワークシート

- 実際に行って体験してみたいな。
- 伝統を継承していくためにどんな取り組みをしているんだろう。